

【渚の交番名称応募一覧】

番号	名称	解説
No.1	マリーンテラス備前	風光明媚な瀬戸内の一角にある備前市内。豊富な食材を満喫しながら、余暇利用が可能。
No.2	頭島里山▲里海▲センター	山が豊かなら海もその栄養を受け豊かになる。
No.3	英名：HEAD ISLAND SPACE (H I S S) 日本名：頭島多目的館	瀬戸内海は海外の人が注目されているので、頭島をそのまま英語表記しました。
No.4	山海里（さんかいり）	その場所にふさわしい。
No.5	AMAMO	里海への関心を持ってほしい。 シンボルとして備前（日生）で取り組んでいるアマモを名称にしたい。
No.6	ひなはーれ	日生がよく晴れるから
No.7	楽しみーな遊んでみーな頭島	楽しそうだから
No.8	頭島たのしみかん	頭島や日生のいいところをみんなで知ったり、楽しんでくれたらいいと思うから。 魚釣り、みかん狩り、海水浴場など。
No.9	M&Mブラザ (マリン) & (マウンテン)	海と山の拠点となる施設であるため。
No.10	M&Mポート	
No.11	M♡Mブラザ	
No.12	M♡Mポート	
No.13	with B	備前(Bizen)、浜辺(Beach)、美しい(Beautiful)、それぞれの頭文字"B"を取り"with B"にしました。 Withの意味は(〜と一緒に)です。備前の人達と一緒に、美しい浜辺と、心から海との繋がりを楽しめる、人との交流を楽しめる場所になればと思い、この名称にしました。
No.14	かもめの水兵さん	海を守ってくれる
No.15	かもめのジョナさん	飛ぶ喜び、生きる喜び
No.16	シーサイド広場	海の近くにいろんなスペースがある。
No.17	海の道 かもめ	海の停留所のイメージ
No.18	海の道 頭島	海の停留所のイメージ
No.19	ぎょぎょっと🌀アマモ🌀ステージ	日生の観光シンボル 五味の市でのぎょぎょっと祭りの「ぎょぎょっと」で海への想像。 アマモの再生と言えば、地元の日生中学生の舞台の素晴らしい演技を思い出します。 アマモ🌀ステージと合わせての海洋学習施設の名称です。周囲は波を表現します。
No.20	渚の交番 ビーチヘッド	渚を含む海岸等は英語にすると「ビーチ」。 そして頭島に立地する施設であることで頭「ヘッド」を組み合わせました。
No.21	ひなせうみらボ	近場の方でなければ、「日生」という地名はなかなか読めないという意見を聞いたことがあります。 その読み方（ひらがなで）を施設名の頭につけて興味を引き出し、ぜひ覚えて帰っていただきたいと思えます。うみもひらがなにして、子供たちにも読めて欲しいからです。最後は最近よく耳にする「ラボ」という「ラボラトリー」の略語を使い、研究機関の堅苦しいイメージを取っ払い親しみやすさを狙います。親しまれやすい施設になって頂ければという願いを込めて、「ひなせうみらボ」で応募いたします。
No.22	サンシャイン備前	晴れの国おかやまに属した地域として、渚に太陽が美しく登るという明るいイメージになる交番施設にしたい。
No.23	海輪（会話）の交番in頭島	「海への関心や好奇心喚起を意図とした活動を行い、次世代を担う子供たちが海をより一層「自分ごと」として捉え、海を未来へ引き継ぐ行動の輪を広げ、里海と里山をつなぐ拠点を指す」という渚の交番のコンセプトに共感しました。渚の交番について調べていく中で、自分たちの住む日生から海に関する輪（海輪）が広がってほしいという想いも強くなりました。海の輪を広げていくためには、人と人との繋がりがや会話が必要になります。そこで、海の輪＝海輪と会話をかけて「海輪の交番」という名称を考えました。また、自分たちに身近な頭島への建設予定ということで「in頭島」を加えました。
No.24	海辺の体育館in頭島	渚の交番は頭島の海辺にあり、アマモ学習や牡蠣むき体験などのたくさんの体験ができます。また「海辺の体育館」という名称は、シンプルで覚えてもらいやすいと思えます。
No.25	大自然が広がる交番2021	「大自然」は、日生の海や山のことを示しています。「交番」は海を守るということを表しています。また「2021」は2021年に頭島に新しい建物が作られることを記念して加えました。
No.26	渚の交番 頭島店 しおかぜ	名称に「頭島」をつけた理由は、どこに渚の交番があるか分かりやすくするためです。海から風が強く押し寄せてくるように、多くの観光客の方に来ていただきたいという想いを込めて「しおかぜ」を加えました。
No.27	里海里山をつなぐ場所	渚の交番が建設される頭島には、海はもちろん、山や動物などもあります。そこで「里山」「里海」という言葉を入れてこの名称にしました。

No.28	Sea home	直訳すると「海の家」となります。「Sea」には、海のことを考え、発信する場合になってほしいという想いを込めました。「home」には、家のように気軽な気持ちで立ち寄り、リラックスして過ごせる場所になってほしいという想いを込めました。同じ「家」でも「house」は「建造物」を表すのに対して、「home」は「安らぎを与える場所」という意味合いがあります。海のことを考えて発信し、家のようにリラックスして過ごせる場所になってほしいので、「Sea home」という名称を提案します。
No.29	日生 シー ビレッジ	「シー」には海 (sea)と見る (see) の2つの意味合いがあります。日生の豊かな海を見てもらいたいと思います。「ビレッジ」には里という意味があります。日生の豊かな海を見てもらい、いつでも故郷のように感じてほしいと思います。
No.30	山海閃閃館	山…前島のオリーブ 海…瀬戸内海の美しい海 閃閃…オリーブと海がキラキラ輝く姿
No.31	みんなでかしらじま	"かしらじま"をアピールして知名度をあげることと頭島の島民の方に全員で事業をサポートして、色々な活動に参加協力していただき次世代にもつないでいく事を目的とする理由からです。
No.32	Sun mar (サン マール)	日生のお日様とスペイン語で海を合わせてみました。
No.33	頭島マリンBOX	12月に友達と頭島へ行きました。パンを食べて、みかんを買って、散歩をしました。友達が以前、グラウンドゴルフをしたという公園へ。募集記事を見て、この辺りに施設ができるんだと思いました。海がいっぱい見える場所で楽しそう。いろんなものがいっぱいつまった施設。それで「頭島マリンBOX」
No.34	渚のマリンテラス	広い海、小高い丘、自然がいっぱい。お金持ちだったら、頭島をまるごと買って、別荘に、自宅に。散歩か釣りを楽しみたいと思います。そんな頭島に「海洋学習施設」がオープンするなんて、楽しみです。海がギュッとつまった「渚とマリン」と隣接の「テラス」を合わせました。
No.35	頭島スカイマリン	青い空、青い海、まるごとつまった素晴らしい展望の瀬戸内海。
No.36	渚のシーサイドテラス	海いっぱい憩いの場所という意味を込めて。オープンしたらぜひ行ってみたいです。海が大きい、広い、山もあって最高の場所に「海洋学習施設」ができるなんて楽しみです。2階のレストランで料理を食べて、コーヒーを飲みたいです。ギャラリーがあるといいですね。
No.37	海と山のハーモニー	日生から橋を渡るとそこは、里山と海の小さな島(頭島)。春から初夏にかけ、私は頭島に潮干狩りに行きます。潮干狩りをしている際に見渡す景色は、海からの小高い山です。牡蠣や釣り人、船、波の音が、輝く太陽の下、山に囲まれ平和な時間となりゆっくりと流れています。よって、頭島は海と山が調和した楽園であると思います。そこから、私は「海と山のハーモニー」と名付けたいと思いました。
No.38	備前の波音	
No.39	水ヶ鼻クラブ	
No.40	海山宝頭島館	
No.41	キテミー	
No.42	きてみ	みんなが気軽に来てもらえるように日生弁で来てくださいという意味を使いました
No.43	カシーラ	頭島の"かしら"と目の前に広がる海 (sea) をかけあわせて呼びやすく親しみやすい"カシーラ"にしました。
No.44	YORINAHALLE	備前市日生町では「寄っていきなさい」というときに「寄りなはれ」という言葉を使います。多くの観光客や地域住民に気軽に立ち寄りいただき、親しまれる施設となるようネーミングを考えました。連用中の定期・観光船で周知された「NORINAHALLE」の名称とイタリア語よく雰囲気をあわせました。 日生弁でユーモアあふれるネーミングを考えました。
No.45	Uojima	瀬戸内海の沖に産卵のため魚がどっと押し寄せ、その群れが小鳥のように見えたことから「魚鳥」と例えられました。そうした瀬戸内の豊かな季節は「魚鳥どき」とも呼ばれています。また日生町では鯖の豊漁を祝って、漁師や仲間たちが集まり、郷土料理「いり焼き」などの鯖料理を楽しむ会を「うおじま」と呼んでいます。この施設に大勢の観光客や住民が集いにぎわうようこのネーミングを考えました。
No.46	Uminavi	海について学び、瀬戸内の海や魚介類について関心を深めてもらうため「うみ」と「まなび」を合わせこの施設が「ナビゲーター」となうよう「uminavi」とネーミングしました。
No.47	Uonavi	海について学び、新鮮な魚を味わい、瀬戸内の海や魚介類について関心を深めてもらうため「魚uo」と「まなび」を組み合わせ、この施設が「ナビゲーター」となるよう「uonavi」とネーミングしました。
No.48	あつまーれ	海について学び、海について関心を深めてもらうため、幅広い世代の方々に集まっていただきたく「集まれー」と、イタリア語で「海」を意味する「マーレ」を組み合わせ「あつまーれ」としました。
No.49	みんなのうみ	豊かな海の恵みを守り育てる。大切な海の資源や魚を守るため、海や環境について、みんなで考え、みんなで育てる。そんな施設となるよう「みんなのうみ」と名付けました。
No.50	頭島里海山センター	
No.51	海と山の駅	次世代子供の未来へ引き継ぐ拠点へ
No.52	頭島海山未来館	浜の潮風、山の風、燃える太陽、自然の恵み、明日が好き未来館
No.53	備前頭島未来館	

No.54	りゅうぐうのたまてばこ	ここに来るといろいろな楽しいことや美味しいものを見つけられる。美しい景色や楽しい方はいくらでもある。まるでたまてばこのような感じというイメージです。
No.55	きららみちくさ	きらきら輝く美しい海とたくさんの美味しい食べ物を見つけられる。マリンスポーツやグラウンドゴルフに興じることもでき、ゆったりとみちくさというイメージです。
No.56	ブルーシャワー凧	空も海綺麗なブルーの頭島。まるで空からも海からもブルーのシャワーを浴びているようです。凧は和気と同じ意味があり、凧いだ海と今だからこそ、穏やかな世の中にといい願いを込めて。
No.57	頭島つながりの丘	この丘が市民の繋がり場として活用されることを願って。
No.58	頭島つながり衛門	美しい瀬戸内の海の見える丘が里海、里山として未来へ引き継がれるえーもんになりますように。
No.59	竜宮城	老若男女問わず、子供から大人まで幅広く海のそばで自然に触れながら夢を語り合い絆を深められる施設になることを期待して名前をつけました。
No.60	ハビネス	みんなが安心して住める町、活気のある街になりますように、幸せを願って・・・
No.61	翔	「海とみどりと炎のまち」をキャッチフレーズとしている備前市。誰もがパワーアップ備前を願いながらも、今や県下ワーストワン。そんな状況の中備前市に久々に明るい話題。日本財団法人「渚の交番事業」に採択され、令和3年夏、頭島に渚の交番施設がオープン。心がキラッと輝きをとりにどしたかのような感じ。この活動が次世代を担う子供たちが更に行動の輪を拡げ未来へ羽ばたいてくれるよう、願いを込めて名称を「翔」としました。
No.62	日生萌黄乃島交流館	萌黄色の頭島の自然の中でみんなが生き生きと楽しく、感動体験してほしい。そして、コミュニケーションを広げてすべての世代へつながる場となってほしいと思います。
No.63	備前里海☆里山の交番	<ul style="list-style-type: none"> ●どちらも「☆」を入れた理由は以下の3つです。 <ul style="list-style-type: none"> ・「日生」の文字を縦にすると「星」になるため。 ・備前日生大橋も連想させ、話題性や愛着が生まれるのではと考えたため。 ・星空がとても綺麗な日生諸島が拠点だから。
No.64	里海☆里山日生の交番	<ul style="list-style-type: none"> ●どちらも里海里山のキーワードを入れた理由 <p>頭島にできる渚の交番が里海の発信だけではなく、里山をつないで考えた拠点を狙っているからです。また、名称から他の渚の交番との違いも一目で分かるというのでは考えました。</p>
No.65	なぎさ・めぐりあいの交流館	<p>頭島から見える最高のロケーション日生、鴻島、小豆島と見渡せる場所にある。</p> <p>頭島のきれいな里海、里山を通して、島の人たちや、備前市、岡山県、県外の人達との、あたたかい出会いがありますように。</p> <p>そして、長く交流が続きますように…と願いを込めて、デイサービスのご利用者様と考えました。</p> <p>素敵な交番施設となりますように。</p>
No.66	テラス うみ	<p>海に触れ、体感・学習できる場所</p> <p>てらす→照らす→太陽→日、うみ→生み</p>
No.67	ごじゃばこ	いろんな世代の人がごちゃごちゃと集まる箱という意味を日生弁の「ごじゃばこ」とかけてみました。